

週刊時事経済

発行所
平 市 新 川 町 17
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行
郡 山 支 社
郡 山 市 大 町 54
電 3006

勉強で評判の店
丸萬家具店
店舗 平市四丁目
電 6463
工場 平市白銀町
電 6434

二回に亘り合併協議

正月に先進地視察

新設都市への合併が前
提となつてゐる常磐地区
の十四市町村では決定の通り
第一回役員会を県庁事務所
常磐地方市町村合併促進協議
で開いた。第一回役員会には



夢と希望の実現

平城再建運動

夢と希望をも
たらす話題
平城再建の話を
聞くと、人々はその考
えと動きのなかに希望をもちま
ちであり最もである。二応は
希望の話題に各紙
は、一涌に飛びつき大々的に報
導したのだ。

新設都市にふさわしい大規模な
施設とするため総工費一億五
千万円を投ずるといふ。それ
から半世紀だと言つたのに、
加えてもつと必要金
の使ひ道がある。やるべき
とは山ほどある。いまさら益
を計るべきではない。

18日に平市市会

給食センター後廻し

平市十二月定例会は十八日
から三日間開く。二千五百万
円程度の追加更正算を出す
が、中学校の給食センター建
設案は議決中の給食も併設す
るため当初一千二百萬円の予
算案だったが、千八百萬円も
超える。

報酬値上げ

常磐市十二月定例会は十六
日から五日間開くが議員報酬が
値上げされることになった。
月額議長三万円(一万円増額)
(副議長二万七千円(一万
円増額)議員二万五千円(一万
円増額)となり、十月一日に
さかのぼって支給される。

二億円に近

融資希望

常磐地区の農業近代化
基金希望額がまとまった。
千四百八十三件、一億九千六
百四十四万三千円(総事業費
は二億七千万円)となつて
いる。平市の二百九十六件、
四千九百九十二万、勿来市の
二百四十四件、四千八百二十二
千円が目立っている。

先見が明

命とりとなるホーサ
ン入りのカマボコが
売り出され、それが
発見されて大きな問
題となった。「平城
名物カマボコ」がひ
よつたひよつた名産をまっ
けたら、どうしたらいいか
については、人工甘味料の
つかりに注意。

忘年会 新年会は

デラックスな設備と環境のよい

報徳会館で

お気軽にご用命下さい

- ◆ 和 式 200名様まで
- ◆ 洋 式 50名様まで

平駅からバス5分 料金十円

内郷市御所町八合 電(平)5522 5523

酒は
郷土の銘酒
鶴仙
醸造元
松吉屋酒造店
平市中平 電2210

お歳暮は国際
的となりけり
オランダのココア、米国のコーヒ
ー、イギリスの紅茶と世界第一級
をそろえた詰め合わせは自由化時
代にふさわしい贈り物です。
リフトンコーヒー紅茶セット
ブルックボンド 一千円—三千円
日東紅茶 一千円—三千円
森永バター・チーズ 五〇〇円—一千円
雪印バター・チーズ 五〇〇円—一千円
(二進物売り場は新館一階に移りました)

モモト
平市・二丁目 TEL. 2607

新舞子に国民休暇村

建設省の一行が視察

平市は先般に機軸改革で観光公園として新舞子と並行新観光地造成に積極的のり出したが、手はじめての同市草野の国民休暇村建設を中心とする国民休暇村建設の構想を持ち、五日同市の招きで建設省都市局の森田公園課長と高橋建設省都市計画課長がきて馬目市助役、上妻観光公園課長、渡辺土木事務所長の案内で新舞子一帯をくわしく視察した。

四季を通じて利用でき、勤労者を中心とした健康計画線マツの樹齡、国有林はしめ公私有林の分布図、さらに市の利用計画書の提出を求めた。

市の構想としては石城郡四倉町の境から同市津川河口まで南北延長五キロ、その背面の平均三百メートルの土地の中に大小さまざまの沼地帯を生かして国民休暇村を造成しようという計画で、この適地をねらってすでに東京都千代田区神田町の博誠社(資本金三千万円、池田長典社長)から藤間海岸に油圧統管工場を建てたいからと用地一平方メートルのあらつせん申し入れが市にあり、これが解放されると昨年完成した地元の夏井地区工場誘致期成同盟会の活動と合わせ同地区工業開発が具体化する。

博誠社の工場規模は建てる旧市内の土地を全部完了し、都市計画の進展をはかる方針で、いま進行中の平駅前地区の整理にも乗り出し、前地区の整理にも乗り出し、大きな期待を寄せている。

九品寺方面区画整理

来年度から五年計画

都市計画事業に積極的な方針をとる平市は先般に新舞子第一、第二地区区画整理事業が完成、市の南方地区発展に役立てたが、こんどは新舞子市の建設と並行して常盤線北方地区の土地区画整理事業を計画、都市計画課を設けて来年度から四十三年度完成の五年計画案をたてている。

新舞子第一地区区画整理事業費千七百七十五万円を投入、去る二十九年度から五年度で三万九千二百六十平方メートルの土地を整理し、その後工

九品寺前、権現家、紅葉町、梅屋町の五町内と鷹匠町、柳町、四軒町、仲間町、北目町の各一部はいる。

この地区はすでに三十五年に炭礦離職者緊急対策事業として手廻町内を南北に幅十二メートルから一部十五メートルの市道七百メートルを新設、その後分譲住宅地帯として発展しており、こんどは整理も縦横に整然と道路を設けるほか手廻町内内の奥道をさらに北目町まで八百メートル延長し、市内の循環道路を

藤間を工場地帯へ

民有保安林の解放申請

平市は工場用地造成のためさきに農閑農地の調査で工業適地に指定された夏井地区藤間海岸の民有保安林約四十八ヘクタールの開放を農林省に申請することとし、この関係者が現地視察した。

この適地をねらってすでに東京都千代田区神田町の博誠社(資本金三千万円、池田長典社長)から藤間海岸に油圧統管工場を建てたいからと用地一平方メートルのあらつせん申し入れが市にあり、これが解放されると昨年完成した地元の夏井地区工場誘致期成同盟会の活動と合わせ同地区工業開発が具体化する。

博誠社の工場規模は建てる旧市内の土地を全部完了し、都市計画の進展をはかる方針で、いま進行中の平駅前地区の整理にも乗り出し、前地区の整理にも乗り出し、大きな期待を寄せている。

保護世帯が六百

内郷 昨年より三割増

低所得者の多い内郷市の生活保護受給世帯は十月末現在七百六十四戸前後のほか、来年度は七百七十八戸、二千七百八十七戸で、これに支拂う一カ月の扶助額は七百五十三万四千円と昨年度の七百五十三万四千円より百五十万円(三・三%)増となった。

福祉事務所の話では十一月は生活保護受給世帯は十月末現在七百六十四戸前後のほか、来年度は七百七十八戸、二千七百八十七戸で、これに支拂う一カ月の扶助額は七百五十三万四千円と昨年度の七百五十三万四千円より百五十万円(三・三%)増となった。

自信をもって

お奨めできる

ケーキ

クリスマスデコレーションは是非ご用命願います

- スペシャル食パン
- ドイツパン
- フランスパン
- ワンローブ
- バターブレッド
- 市川のおまん

市川



明るい家庭に
ダイヤモンド毛糸
株式会社 ハシモトヤ
平市田町 電話 4316 4315

「冬です、しずかにお茶を
味わいましよう」

◎甘みの部(宇治茶) 香りの部(煎茶)

宇治の香一号印 100g付 300円 大市印
二号印 100円 三三三
宇治の香一号印 100g付 300円 大市印
二号印 100円 三三三

大勝園茶舗
平市三丁目
電話 二二九六

株式会社
常磐ヤンマー製作所

平市一丁目
電話 四三二六・四三二七

不動産売買仲介評価貸家斡旋
公認 平宅地建物取引所
平市才地小路踏切際色川材木店内電話三三六一

年末年始大売り出し

家具センター

ナガキ

平市三丁目 TEL 4534

大塚の牛豚肉 お惣菜

平市堤ノ内
湯本上町電話(常磐) 二六五八
ニクヤサン

本店 平市中央通り 電話 二九三六
支店 平市三十米通り 電話 五九一二
工場 平市旧城跡下 電話 五九〇六
自宅 六四〇二

人 財 団 法 人
本 院
電話(代)二二六一
平市南町二三
舞子浜病院
平市藤間字松原
電話(高久局)六二
城南分院
平市小太郎町一八

週刊時事経済

発行所
平 市 新 川 町 17
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行
社 支 社
郡 山 支 大 町 54
電 3006

勉強で評判の店
丸萬家具店
店 舗 平 市 四 丁 目
電 六 六 三 三
工 場 平 市 六 丁 目
電 六 六 三 四

力行会報社では二

十年以来つづいて
いる教育事業でかな
りの人材を世に送り
出しているが、その
なかで学界で頭角を
あらわしてきた人が
ある。東大講師青柳昇一氏で

平城愈よ近く着工へ

有力方面の賛成続出

平市の電が城は今年中に
実現するきざしが見えて来た
早くも物見が丘高台には「平
城建設地」と書いた大看板
を掲げ平城建設期成同盟会事
務所も田町の猪狩四郎氏宅裏
に設け、諸橋元三市長が期成同
盟会長として連日この事務所
を訪れているが、新産都市の
中心文化都市としての平市は
こうした文化施設をどうして
設けて市の實績を誇示しな
ければならぬときだけにこの運
動には共鳴者も日に多く

みんなで平城を造ろう

私の初夢 猪狩四郎



新年おめでとう
たいさである。私はこの偉容を
見て突然夢を見た。夢は
しいタン年、即ち
童の年を迎えて私
はかねてから考
えていた平城建設
題が新年の初夢となつて現
れた。沖天に電雲を呼ん
で玉を鏡つあの勇ましい何
者おもてつてまいた図を隣
時のうらに仰ぎ見た途端に
今度は物見が丘の高台に天
を浴びてくつきりと輝え建
つたのだ。その偉容、その雄
姿、これこそわれらの先人が
数百年の間この地方を治め
てきた平地方のシンボルとし
て朝に夕なに接して親しま
れ

平市長	大和田弥一	常磐市長	磯野清治	磐城市長	三代義勝	勿米市長	赤津庄兵衛	四倉町長	鈴木常吉	小川町長	若松晴司	好間町長	鈴木栄一	遠野町長	小沢要助	三和町長	田子辰雄	田人村長	蛭田栄太郎	川前村長	渡辺政義
-----	-------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------

1964年 新年おめでとうございます 昭和39年

諸橋元三郎 平市五丁目	阿部政衛門 平市才植小路	猪狩四郎 平市田町	大和田弥一 平市長	佐藤光 国立平工業高等専門学校 校長	飯野盛男 平市高月一
----------------	-----------------	--------------	--------------	--------------------------	---------------

〔年 頭 所 感〕

政治生命をかけた 大郡山建設へ邁進

郡山市長 秀 瀬 日 吉



私は市長就任以来、常に「市町村民の方々の一致団結し、市民の福祉を増進し、明るい大郡山建設を推進し、市民のみなさまとともにより一層の熱意と決意をもって邁進してまいります。」と、私の政治生命をかけた大郡山建設へ邁進してまいります。

昭和三十三年、私はこの大郡山建設の第一歩を踏み出した。その時、私は「大郡山建設は、市民のみなさまとともにより一層の熱意と決意をもって邁進してまいります。」と、私の政治生命をかけた大郡山建設へ邁進してまいります。

健康と平和な 理想都市の実現

市会議長 下河辺行雄氏



本年は新産業都市建設の本格的な歩調となり、安積郡山町村の合併が進展し、有力なる工業の誘致も実現する大躍進が期待されております。この大躍進が実現する大躍進が期待されております。

本年は新産業都市建設の本格的な歩調となり、安積郡山町村の合併が進展し、有力なる工業の誘致も実現する大躍進が期待されております。

七月に商工会館完成 商店街の飛躍振興へ

郡山商工会 小針幸太郎氏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。市議会、更に国会議員の選挙等あり、誠に忙しゅうございました。また郡山発展史上特筆大書すべき新産業都市の指定を受けました。これは、大郡山建設の第一歩を踏み出した。その時、私は「大郡山建設は、市民のみなさまとともにより一層の熱意と決意をもって邁進してまいります。」と、私の政治生命をかけた大郡山建設へ邁進してまいります。

1964年

新年おめでとうございます

昭和39年

郡山市役所 市長 秀瀬 日吉		郡山市議会 議長 下河辺 行雄		県会議員 横井 政吉		県会議員 大野 正一		社会党郡山支部長 今村 元次		郡山商工会議所 会頭 小針 幸太郎		安積郡町村会 会長 本田 通之助		自民党安積支部 支部長 佐藤 保雄 幹事長 伊藤 亀三郎		安積疏水土地改良区 理事長 山田 善之助		福島県中部経営者協会 郡山市堤下町五一番地 電話(郡山)二一四九五 県電気ビル内 会長 兼子 俊一 副会長 平松 信武 小原 謙一 大竹 佐一 外会 員一同		日和田町 町長 渡辺 春也		富久山町 町長 村越 今朝蔵	
安積町 町長 森合 伝次郎		熱海町 町長 原 袈裟男		喜久田村 村長 安島 与志治		片平村 村長 谷代 甚七		逢瀬村 村長 本田 通之助		三穂田村 村長 国分 亀寿衛		湖南村 村長 宗像 彦良		郡山市役所 部長 クラブ		郡山市役所 課長 クラブ		郡山市陳屋通り 株式 会社 株主 高橋 健三 社長 高橋 健三		福島電機工業 株式 会社 社長 橋本 彬		本宮砕石工業株式 会社 社長 石井 利一 事業所 大玉村大山 営業所 本宮町中条 本社 日和田町高倉	
郡山市柳内四二 県中 信販協組		理事長 小針 幸太郎 副理事長 菊地 久之助 専務理事 斎藤 喜代平 常務理事 伊藤 正治 事務局 大村 金蔵		土木建築請負 ブロック製造販売 伊藤 工務店 伊藤 克俊 安積郡日和田町 電六〇四〇		喜久田村農協 理事長 鈴木 広澄		多田野農協 理事長 増戸 松次郎		富久山町農協 理事長 高橋 弘		栗山 ひで 代議士 (自民党)		吉村 義雄 代議士 (社会党)									